

けん玉商店街

(廿日市駅通り商店会)

広島県廿日市市

！取組のポイント

地域資源である廿日市市発祥の「けん玉」を活用した商品開発やイベントにより、商店街振興に成功。

取組の背景

賑わいの創出と競合回避が必要

当商店街は、近年、空き店舗の増加により賑わいを失いつつあり、近隣におけるスーパーなどの出店による価格競争にも巻き込まれ、他の商店街や商業施設との差別化、競合回避を図ることが必要であった。このため、商店街全体に商圈を超えた競争優位性を持ったテーマを設定し、市内外から人を引き寄せる取組として、従来の季節ごとのイベント以外に、地元発祥で海外でもブームになっている「けん玉」という地域資源を活用して集客を促す必要があると分析。「けん玉」を活用した商店街振興に本格的に取り組むこととした。

取組の内容

「けん玉」を通じたプロモーション活動を推進

2014年4月、「けん玉商店街」という愛称に改め、加盟店内へのけん玉展示や、飲食店を中心とした新メニューの開発・提供、地元酒造メーカーとタイアップしたけん玉焼酎開発など、けん玉を通じたプロモーション活動を推進している。なかでも市の補助を活用して開発した「けん玉もなか」は、新たな名物として知名度を上げている。

けん玉をモチーフにして各店で色々な商品を開発



また、観光協会が主体となって開催した「けん玉ワールドカップ」に従来の商店街イベントを合わせ、連携することでの相乗効果を狙った。国の補助を活用した新たな集客イベントも実施し、予想を大きく上回る人出を記録した。

なお、多くの外国人の来客が予想されたため、英語版マップの作成、ベジタリアン向けメニューを提供する飲食店を分かりやすくするなどして、受入体制を整備している。当日は、外国人100名以上を含む約3000名をもてなした。

けん玉W杯では外国人プレーヤーのステージが盛況



取組の成果

テーマを絞り、知名度・集客性を向上

当商店街は、まずはテーマを「けん玉」に絞ることで地域独自の競争優位性を獲得した。また、この取組により生まれた賑わいを常時情報発信していくことで、マスメディアにも頻繁に取り上げられ、知名度・集客性を向上させている。

商店街全体の魅力向上により、けん玉専門店や総菜店の出店など、空き店舗の利活用も進んでいる。

2015年度は商工会議所と連携し「まちゼミ」を実施し、「家族みんなに親しまれること」を目指すけん玉商店街として、地域住民と商店との交流の機会も設けている。

現在、新たな取組として、若手経営者が中心となっている青年部が、市の補助制度を活用した空き店舗活用事業(レンタルスペース「はつなぐ」)を行っているほか、Facebookによる継続的な情報発信を行うことで、さらなる集客や実施体制の強化を図っている。

実施体制

けん玉商店街の主な組織は、青年部と女性部である。

青年部は、毎年7月開催の「七夕まつり」の企画運営などのほか、地元大学や高校と連携したイベント開催など、産学連携による地域振興にも力を入れている。対して女性部は、地元酒造会社とコラボレーションした婚活イベントや各種イベントへの出店など、女性同士の連携力を活かした事業を定期的に展開している。

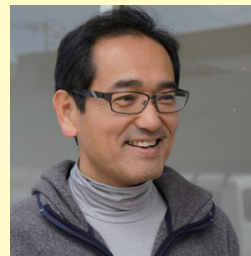
各種事業実施に当たっては、市や商工会議所などの支援機関のバックアップ、観光協会や地元メディア(FM、新聞社)の協力を継続して得ており、国や自治体の補助も効果的に活用していくこととしている。

高校生による店舗壁面へのペインティング事業



キーパーソンからのコメント

廿日市駅通り商店会
会長 原田 智之



功を奏したこまめな情報発信

商店街の愛称を「けん玉商店街」にしてからは、あっという間に色々なカタチになっていきました。けん玉専門店のオープン、けん玉ワールドカップの開催、関連商品の開発と、想像以上の広がりを見せました。

同時に情報発信、特にフェイスブックやメディアへのプレスリリースに力を入れたことで、テレビや新聞などへの露出度が一気に高まり(対応は大変でしたが…)、短期間で認知度が上がりました。個店単位では難しい情報発信も、商店会全体で取り組むと効果が高いと実感しました。

「けん玉」というわかりやすいコンセプト

「けん玉」というわかりやすいコンセプトがあることで、商店街の会員内でイメージを共有しやすかったんだと思います。それぞれのお店が工夫をして、様々なオリジナル商品を開発しましたね。けん玉に関する小物や洋服をはじめ、けん玉もなかや焼酎、カクテルやチャーハン(!)にまで広がりました。

これからは各会員のアイデアや取組を、組織として情報発信やノウハウ共有などの面で支援していければ、一体感も高まり、もっと個性豊かな商店街になっていけるのではないかと期待しています。

基本データ

所在地	広島県廿日市市廿日市
人口	約12万人(廿日市市)
電話/FAX	070-1873-1232
関連URL	www.facebook.com/201kendama http://hatsunagu.jimdo.com
会員数	58名
店舗数	80店舗(買回り品小売店15、最寄品小売店15、飲食店27、サービス店13、その他10)
商店街の類型	近隣型商店街
主な客層	会社員、高齢者、主婦

商店街概要

1969年に発足された廿日市駅通り商店会は、本市の玄関口の一つであるJR山陽本線廿日市駅、私鉄広島電鉄廿日市駅から国道2号線までの南北約500mの商店街である。最盛期の店舗数は100を超えていたが、高齢化や生活環境の変化にとまぬい、賑わいが失われつつあった。

近年は、若手の経営者も徐々に増加し、地域資源の活用による商店街全体の活性化に向けた機運が醸成されつつある。